

旧広島陸軍被服支廠の保存改修に向けた詳細調査の状況について

平成 30 年 12 月 5 日
財 産 管 理 課

1 要旨

昨年度に実施した旧広島陸軍被服支廠の建物安全性等調査の結果（下記【参考】）を踏まえ、今年度は、劣化防止に向けた建物詳細調査等を実施しており、その状況について、報告する。

【参考】 建物安全性等調査結果（H29）の概要

- ・震度 6 強規模の大地震が発生すると、倒壊等の危険性が高いこと
- ・保存改修で 1 棟あたり約 4 億円、耐震改修で 1 棟あたり約 12～33 億円の概算費用が見込まれること
- ・劣化防止に向けた取組を進めていくこととし、引き続き、調査・検討を行うこと

2 調査状況等

(1) 調査等の概要

- 1 号棟の屋根や外壁等の各部位の劣化状況等について詳細調査を実施し、保存改修に関する工法検討及び概算工事費の試算を行う。
- 加えて、大阪府北部地震におけるブロック塀倒壊事故を踏まえ、西側市道沿いのブロック塀等や建物外壁の安全対策について検討を行う。

(2) 保存改修工事等の概要

区 分	改修（案）	
劣化防止補修	① 屋 根	○ 既存瓦及び下地の劣化・損傷が、雨漏りによる躯体劣化の要因となっていることから、既存瓦及び下地を全撤去し、軽量で耐久性に優れる繊維補強セメント瓦への葺き替えを行う。
	② 陸屋根	○ 既存アスファルト防水層の劣化による雨漏り及び荷重が、建物東側廊下部分の劣化の要因になっていることから、既存防水層を全撤去し、軽量で防水性・施工性に優れるウレタンゴム系防水塗膜を施工する。
	③ 外 壁	○ 煉瓦壁面からの雨水の浸透を防止し、躯体の劣化の進行を食い止めるため、外壁表面全体にシラン系浸透性吸水防止剤（原爆ドーム採用工法）を塗布するとともに、亀裂にポリマーセメントモルタル等の補修剤を充填する。 ○ 腐食により劣化が進行した西側市道沿いの鉄扉の落下防止のため、樹脂製ネットを施工する。
	④ 内 部	○ 亀裂から建物内部への雨水の浸透を防止し、躯体の劣化の進行を食い止めるため、仕切り壁等の亀裂にポリマーセメントモルタル等の補修剤を充填する。
	⑤ 外 構	○ 雨水が建物下の地盤に流入し、不同沈下の一因となっている可能性が高いため、雨水が敷地外に排水されるよう、敷地内排水経路を整備する。 ○ 既存アスファルト舗装の撤去・再施工
⑥ 周辺環境整備	○ 炎天下での平和学習等に配慮し、見学用建屋を新築する。 ○ 雑草の繁茂・不法投棄防止のため、西側市道沿いを整備する。	
⑦ ブロック塀撤去	○ 既設ブロック塀を撤去し、代替フェンスの設置や門柱の補強等を行う。（北側隣接地に残る煉瓦塀等についても、市道通行者等の安全確保の観点から撤去し、旧被服支廠敷地内で保管する。）	
⑧ 追加安全対策 【検討中】	○ 市道通行者、近隣住民及び住宅の安全確保の観点から、建物西側壁面の上端から下端まで PC 鋼棒を挿入することなどにより、壁面全体を一体的に補強することについて検討中。	

※ 既存の屋根瓦及び煉瓦塀については、撤去後、状態の良いものは旧被服支廠敷地内で保管する。

(3) 概算事業費

約 3.8 億円 (税込) ※「⑧追加安全対策」を実施した場合の費用は除く。

(4) 工期

約 18 ヶ月程度

3 専門家からの意見

この度の被服支廠の保存改修の検討に当たっては、歴史的建造物の保存改修に精通する学識経験者等の複数の専門家にご協力をいただいております。今回の保存工法等について、現在の調査状況をお示ししたところ、次の意見をいただいた。

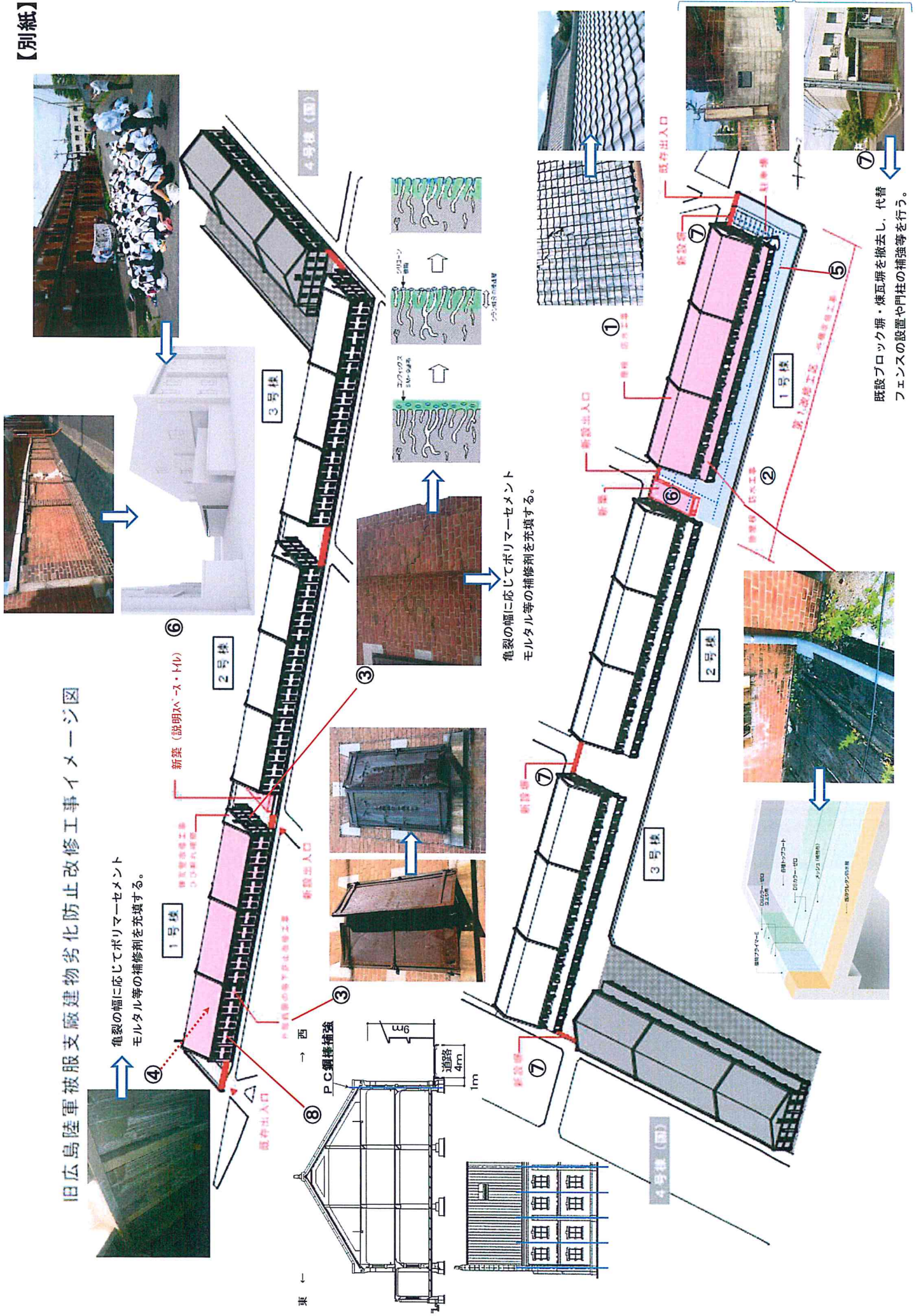
- 保存改修案は、専門業者に提案させた複数の工法について比較検討されており、概ね妥当。
- PC 鋼棒補強工法については、類似の大規模建物の施工事例がないこと等から、慎重に検討・対応する必要があります。
- 劣化の進行状況について、継続的な技術的検証を要する。

4 今後の進め方(案)

- 追加安全対策を除く保存改修工事等について、まずは来年度(平成 31 年度)から 1 号棟において工事に着工できるよう、引き続き調査や準備等を進める。
- また、2・3 号棟についても、1 号棟の施工状況なども検証した上で、順次、保存改修工事に着手できるよう検討・準備を行う。(ブロック塀等の安全対策については早期に行う。)
- 建物西側壁面の補強等の追加安全対策に関し、PC 鋼棒補強を用いた実証試験の実施などについて、引き続き検討する。
- 被爆建物として適切な形で保存され、平和学習等に活用されるよう、引き続き国や広島市とも連携しながら必要な取組を進める。



旧広島陸軍被服支廠建物劣化防止改修工事イメージ図



既設ブロック塀・煉瓦塀を撤去し、代替フェンスの設置や門柱の補強等を行う。